

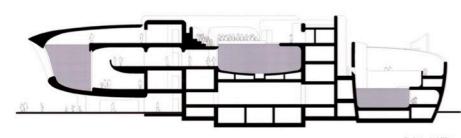
Aerial view



Night view



Night view



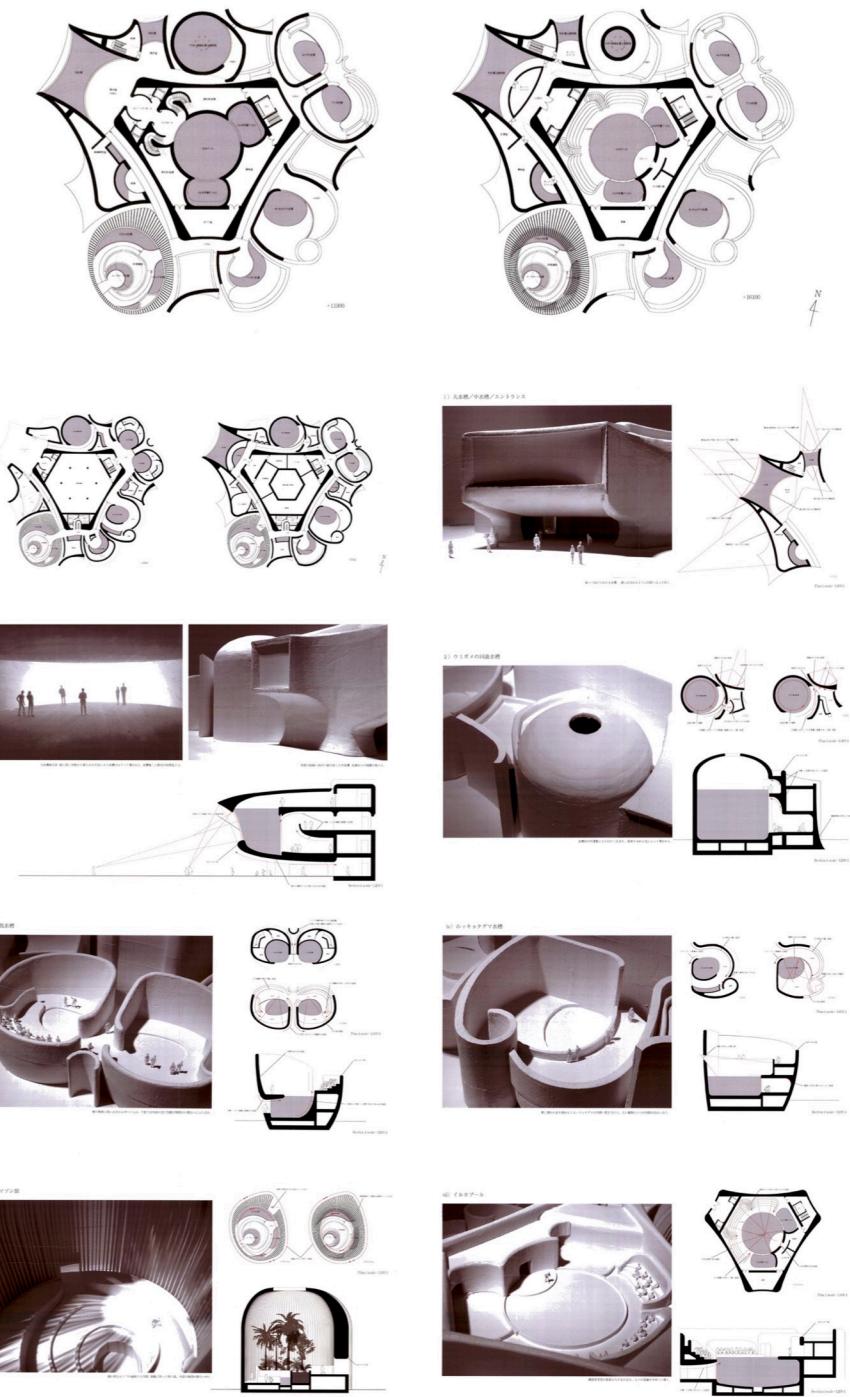
Section (scale 1:200)

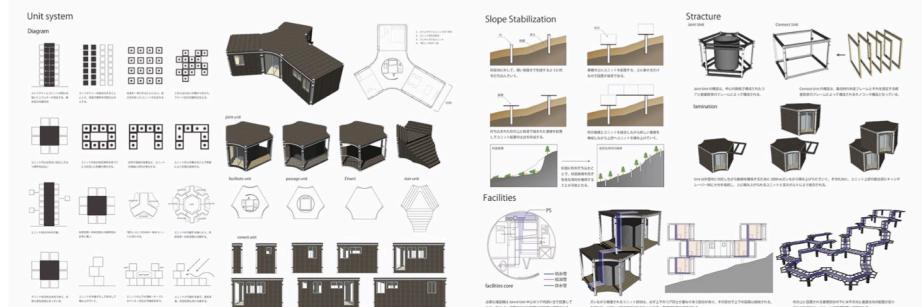
**村野藤吾の有機的形態を構成する
手法に関する研究
—都市型水族館の設計を通して—**

芳木達彦

(遠藤研究室)

本研究では、日本の建築界を代表する建築家の一人である村野藤吾（1891–1984）の建築作品群のうち、「有機的形態を持つ建築」への作品分析を通して「建築における人間性の追求」というテーマに対して村野がどのような思想、手法を持って設計活動を行ったかを明らかにした。その上で、その成果を実際に建築設計へと応用し、その有用性を確認した。

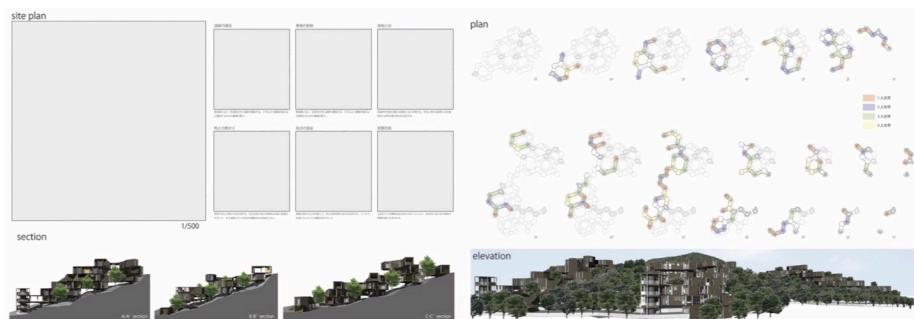
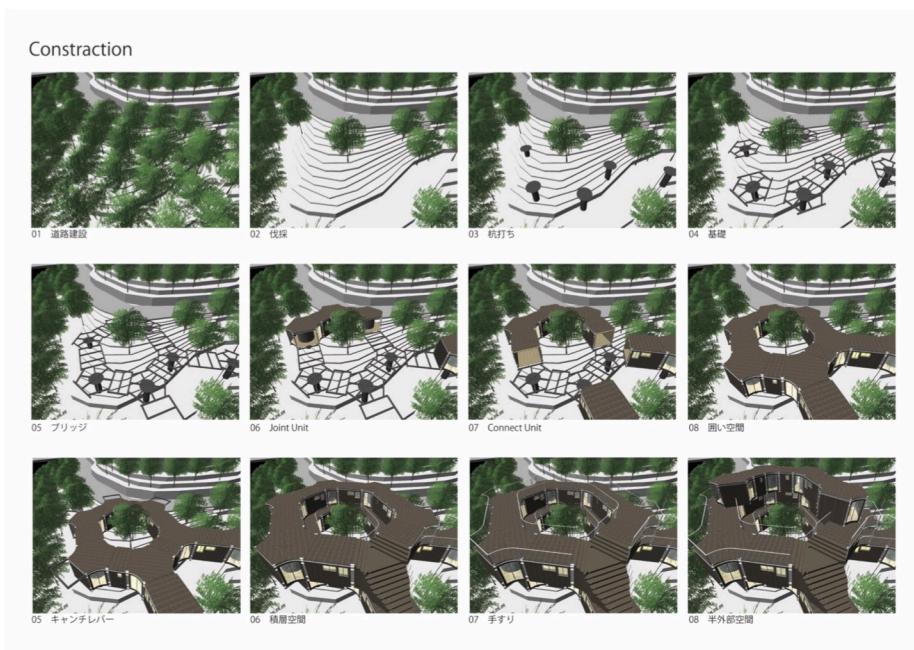




淡路島福良地区における災害対策住宅の設計
—メタボリズム再考による震災復興の
可能性についての考察を通して—

角田博由起
(遠藤研究室)

本論文は、今後運動型地震及び、それに伴う津波により甚大な被害を受けると考えられる、震源近郊湾岸部で山地に囲まれ平野が狭く、海との距離が近いといった地理的に不利な条件を持つ地域において、事前の災害対策を提案する。災害に対して、被害を受けた同じ場所で生活すること、津波に対し宅地を造成して町から離れた場所に高台移転すること、または堤防などの巨大構造物を整備すること等の代替案として、斜面が多いという不利に捉えがちな地形特性を逆に活かした、斜面地における震災復興の可能性とその妥当性を検証することを目的とした。



2012年度修士設計

全作品タイトル一覧

- 芳木達彦 (遠藤研究室) 村野藤吾の有機的形態を構成する手法に関する研究—都市型水族館の設計を通して—
 押谷崇之 (楳橋研究室) 浜における二つの生活—牡鹿半島十八成浜再生のための滞在型プロジェクト—
 片岡恵男 (楳橋研究室) 嵩上げの記憶—一気仙沼市における津波防災研修施設の提案—
 千原麻菜 (遠藤研究室) 千里南地区センタービル蘇生による植物園の設計—建築素材を繰り返し使い尽くす手法についての考察を通して—
 角田博由起 (遠藤研究室) 渋路島福良地区における災害対策住宅の設計—メタボリズム再考による震災復興の可能性についての考察を通して—
 貫名智 (楳橋研究室) 記憶の道—一気仙沼市唐桑町大沢地区を対象とした地域空間再生支援施設の提案—
 早川直樹 (楳橋研究室) 位相変異する街—新神戸における領域連結型公園の提案—
 松原昌幹 (楳橋研究室) 歴史的都市における空隙に関する研究—福井県越前市を対象とした地域活性化手法の提案—
 松本直哉 (遠藤研究室) 京都市中心部における町屋型集住形式の設計—京の街における更新手法の研究を通して—
 三浦良平 (楳橋研究室) 都市アクティビティのコンバージョン—三宮地区における市街地ネットワーク再編手法の提案—
 村岡幹尚 (楳橋研究室) 陸の孤島と建築—埼玉県八潮市を対象とした建築モデルの提案—

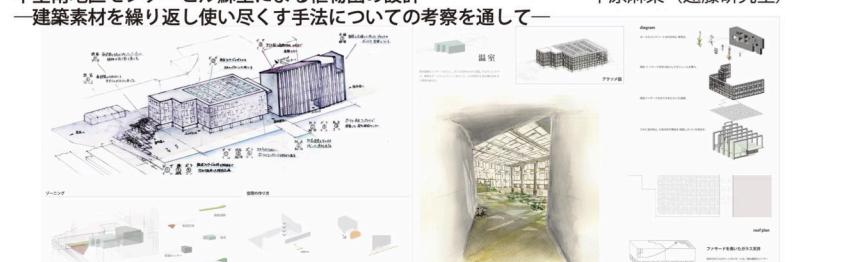
浜における二つの生活—牡鹿半島十八成浜再生のための滞在型プロジェクト 押谷崇之 (楳橋研究室)



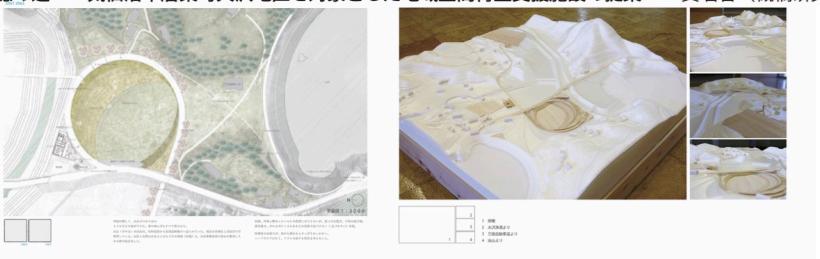
嵩上げの記憶—一气仙沼市における津波防災研修施設の提案— 片岡恵男 (楳橋研究室)



千里南地区センタービル蘇生による植物園の設計 千原麻菜 (遠藤研究室)



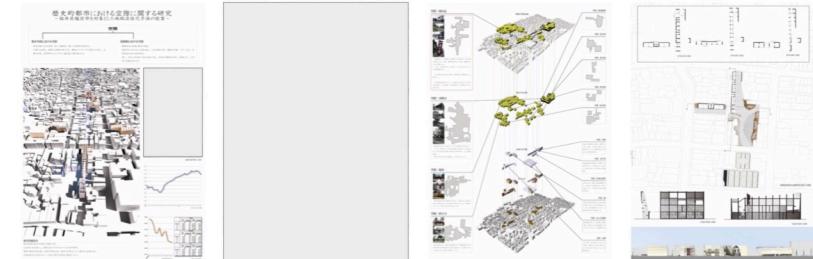
記憶の道—一气仙沼市唐桑町大沢地区を対象とした地域空間再生支援施設の提案— 貫名智 (楳橋研究室)



位相変異する街—新神戸における領域連結型公園の提案— 早川直樹 (楳橋研究室)



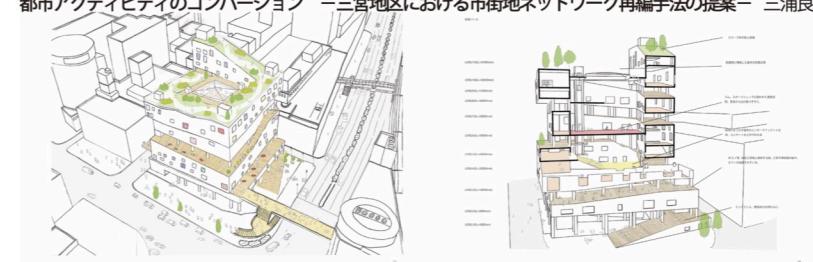
歴史的都市における空隙に関する研究—福井県越前市を対象とした地域活性化手法の提案— 松原昌幹 (楳橋研究室)



京都市中心部における町屋型集住形式の設計—京の街における更新手法の研究を通して— 松本直哉 (遠藤研究室)



都市アクティビティのコンバージョン—三宮地区における市街地ネットワーク再編手法の提案— 三浦良平 (楳橋研究室)



陸の孤島と建築—埼玉県八潮市を対象とした建築モデルの提案— 村岡幹尚 (楳橋研究室)

